

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（沖縄要人來日、訪米）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-28 キーワード (Ja): 松岡琉球政府行政主席, 長嶺琉球政府立法院議長, 椎名外務大臣, 屋良琉球政府行政主席, 星琉球政府立法院議長, 愛知外務大臣, 訪米報告, 訪米及びハワイ訪問報告 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43314

長山欽琉球之法院試長

四〇二一〇

秘

アメリカ局長
参事
北米課長

琉球立法院長嶺議長の

大臣来訪の件

40.2.10
米、北

(1) 琉球 本年1月14日より米陸軍の招待により渡米中であつた 琉球立法院長嶺議長は、2月9日 東京に帰着した 趣をもつて、2月10日午後4時05分、挨拶のため ^{大臣を} 来訪 約10分間 会談した。

(2) 先が長嶺議長より訪米の模様について 次の如く述べた。

「自分は、内務省、国防省、予算局、議會の他 沖縄関係の各機関を

GA-4

外務省

訪問したが、議會筋を含む出来るだけ広い

範囲の話を聞くことに努めたが、

各方面とも今後の米国の沖縄施策は

今回の佐藤、ビョーン共同声明の線に

沿つて行わらざるべきであるとの意見で、

まことに意を強くした。

^{アラスカにも会った。}

米国の対沖縄援助の増額については、

同氏は、現に沖縄で立案中の経済

開発の長期計画がまとまる頃、^{これ} ^を ^{検査}

見合ふための援助枠の引き上げ ^を

或いは ^と ^否 ^か ^と ^考 ^え ^る ^旨

述べた。

述べた。

自治権の拡大、行政上の諸般の問題の

改善案については、日本側から

積極的意見を出すべきを

GA-4

外務省

期待する旨述べた。

(3) これに対し、大屋より、最近^{仲環問題に関し}日米
関係は、^{相互の立場を}理解し合ふ、融け合ふ、

とゆう気分が強くなつて、まことに

結構と思つてゐる。

しかし、~~外交案件が先般新南~~^か
~~もハズエツカ~~^{先般の書きたり}多く、また新南も

先走つて不正確な憶測記事
も多い。

~~を~~書きたがる。このようでは

外交上決して利益があるとは言
^{下手な相手と交渉にかつがれり}難い。このようでは、出来る話も出来

ないから、快があるから、お互に留

意しよう、と述べた。